

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 18 日 (2013.4.18)

【公表番号】特表 2011-500938 (P2011-500938A)

【公表日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-001

【出願番号】特願 2010-531038 (P2010-531038)

【国際特許分類】

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

C 0 8 K 3/28 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

C 0 8 K 3/38 (2006.01)

C 0 8 L 83/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 5/24 C F H

C 0 8 K 3/28

C 0 8 K 3/36

C 0 8 K 3/38

C 0 8 L 83/04

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 26 日 (2013.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サブミクロンの窒化ホウ素とシリカと酸化ホウ素を含有する徐々に発生する反応塊中において形成されるシラノール-シラノール縮合のシリコーン重合体によって特徴付けられる、メチルおよびフェニルシルセスキオキサン樹脂を含み、そして前記シリカに対して前記サブミクロンの窒化ホウ素を 10 / 6 乃至 20 / 6 の重量比で有する樹脂ブレンドから形成され、前記樹脂ブレンドの複数層を含む、高温耐火性弾性複合材の積層材であって、

前記積層材の上部層は、前記上部層への加熱又は火災の適用に対してセラミックの耐火障壁を形成する外面を有し、

前記積層材の中間層は、前記上部層外面への加熱又は火災の適用に対してゴムからセラミックへの変化において柔軟性のあるプレセラミックを形成し、

前記積層材の下部層は、前記上部層外面への加熱又は火災の適用に対して未燃焼のエラストマ状態を保持する、前記積層材。

【請求項 2】

前記積層材の外縁部がセラミック化されている、請求項 1 に記載の高温耐火性弾性複合材の積層材。

【請求項 3】

前記積層材の少なくとも 1 つの層が少なくとも 1 つの繊維強化材を含む、請求項 2 に記載の高温耐火性弾性複合材の積層材。

【請求項 4】

前記積層材の少なくとも 1 つの層が、窒化ホウ素とシリカ粒子のフィラーシステムを含む、請求項 2 に記載の高温耐火性弾性複合材の積層材。

【請求項 5】

前記窒化ホウ素粒子が酸化ホウ素粒子を含む、請求項 4 に記載の高温耐火性弾性複合材の積層材。

【請求項 6】

前記積層材が、125 の温度、200 p s i (1 3 7 9 0 0 0 P a) の圧力で硬化され、真空プレス成型され、200 で後硬化される、請求項 1 に記載の高温耐火性弾性複合材の積層材。